

蒸し暑い日々が続きます。

熱中症や新型コロナウイルスに万全な対策を心がけましょう。

デイサービス八重桜 本店

【父の日 手作りおやつ】

本店をご利用になられている男性に、日頃の感謝と敬意を込めてスタップよりプレゼントをお渡し致しました。それぞれにプレゼントを渡して写真撮影をすると、「ええんか？ ありがと」と満面の笑みを浮かべられる男性御利用者様に、スタップも心を温かくさせて頂きました。



利用者様は男女ともに温厚な方ばかりで、私達もその優しさをお手本に日々学ばせて頂いております。

手作りおやつはスタッフがフルチェを提供し、「これは美味しいわ」と皆様あつとつう間に召上がりされました。

【豪快に一網打尽】

枠の中に散らばったボールを輪っかかて捕まえて手繰り寄せるレクリエーション、「一網打尽」です。輪の中に入ったボールの数で点数を競い合います。

ボールの中に一つだけ十倍の点数が付いた大きなボールが混ざっており、皆様必死に大きいボールを手繰り寄せようと奮闘されています。

輪っかの中から大きいボールが出てしまい、何とか輪っかの中にボールを入れようと試行錯誤する御利用者様や、バシないよう指で手繰り寄せようとする負けず嫌いな御利用者様と、大変ユニークなお時間を過ごされました。



【カンカン輪投げ】

空き缶の下に点数を記入した紙を敷いて、不安定で倒れる空き缶に上手に輪っかを入れるという、普通の輪投げより少し難しいレクリエーションのカンカン輪投げです。

皆様も輪っかを投げる度に表情が真剣になり、前のめりで空き缶に集中されていました。倒れた空き缶に何度も挑戦する御利用者様に周囲の方々も「頑張れ頑張れ」と白熱し、上手く輪っかの中に空き缶が入ると歓声があがりました。



八重の家通信 2 食生活

西 勝康

この「八重の家」の皆さんは概ね自立されていますので、時には自炊されたり、一階のレストランを利用されたりしています。

レストランでは好みのものを選んで膳組みできるビュッフェ方式の日と一般的な定食の日があったり、またデイサービスの日は本格的な松花堂弁当が用意されたり、提供のされ方はバラエティーに富んでいます。

ビュッフェ方式に戸惑っている人には出来る方が手助けをしたりと、計らずも自然な助け合いも生まれています。そして食事の場は人とひとが親しく交流できる機会をもたらして、すでに仲良しグループもできています。

人生の達人どうし末永く、善い人間関係が続きますように心尽くしの料理を通じて応援したいと思います。



デイサービス八重桜 朱雀



「わいわい！キックベースボールゲーム」

今日は激しいレクリエーションになりました。キックベースボールと言って、野球で使う腕を足に変更したゲーム。球を蹴ってヒットやホームランを決めます。普段使う頻度の少ない足ですから、初めは空振りしたり、当たっても前に飛びません。それでも次第にコツがつかめて、大きな歓声に比例してホームランが出始めました。勢いとは怖いもので、次々とホームランを連発して最終的に十五対四の大差になりました。初夏の風吹く、梅雨のレクリエーションでした。

「お元気で、楽しい父の日」

今日は感動的なイベントになりました。朱雀館にいる六人の男性に前に並んで頂いて、それぞれ女性からプレゼントをお渡しするという企画。すると一人目の女性利用者が前に出て突然跪いて感謝の念を語られました。思わぬハプニングでしたが、気持ち伝わり少し涙ぐむ方も出ました。父親との良い思い出があったのでしょうか。母の日に比べたらどうしても地味な父の日ですが、こちら朱雀館では涙あり笑いあり歓声あり、と大盛り上がりな時間となりました。お父さん、ありがとうございます！！



「今月の書道教室」

今日のレクリエーションは静かに書道を楽しみました。お題は「梅雨」「新緑」「紫陽花」「田植え」等、幾つか提示した中から選んでもらいました。毛筆の心得がある方は案外と多くて、滑らかな筆さばきはお見事。皆様、姿勢も良くてスタッフも見習わなければなりません。それにしても綺麗な文字には本当に感心します。字は体を表すと言いますが、それに倣えば皆様美しい心の持ち主。爽やかな初夏の風を感じながら、とても有意義な時間を持てました。



デイサービス八重桜 押熊



「ファールあり？ゴルフゲーム」

定番中の定番のレクリエーションですが、毎回盛り上がりがあります。時間をかけて狙えば狙うほどボールは真つすく走らず曲がるため、残念な思いが「あ〜〜」とか「行け〜！」とか自然と声に現れています。無欲で何気に力を抜いて気軽に打たれるの方が何故か高得点です。いい点数に入れば歓声も大きく、打たれた利用者様も笑顔になられています。

「手習い習字教室」

年を取るにつれて字を書く機会が少なり、書きたい漢字を思い出せなかつたり書き順を間違えたりすることは、職員を含め多くの人が経験するところです。季節感のある字を書いてもらつと、四季を感じて漢字を書く練習もでき、筆を持つ感覚を思い出してもらつたりと、習字は大変効率のよいレクリエーションです。字を書くのを恥ずかしがる利用者様もおられますが、失敗しても大丈夫だと安心してもらつて書いてもらつています。



「待ちに待った 押熊農園収穫日」

押熊農園では収穫日に合わせて色々な野菜を育ててきました。梅雨時期の合間を狙い、なすび、ししとう、ピーマンを収穫しました。収穫出来る野菜は、職員より利用者様の方がよく御存知で「それは、まだ早い」「そこのは、取れる時期やで」などと職員とワイワイ楽しみながら収穫しています。

これからも、プチトマト、レモン、ハーブ、柚子、いちじく等も育つので、利用者皆様には収穫を楽しみながら食べて頂くつと思ひます。



デイサービス八重桜 平城

【七夕作り】



七月の「七夕」をモチーフにしたレクリエーションを催しました。

まず皆様の願いを込めて頂き、真剣な面持ち或いは笑顔を交えながら思い思いに書き留められていました。次に「彦星と織姫」が年に一度の再会を果たしたように「短冊に書いた願いが叶いますように」と皆様と一緒に「七夕の歌」を合唱されました。童心に戻っておられる皆様の笑顔から爽やかさが伝わってきました。

【今月のお誕生日会】

六月は、三名様のお誕生日のお祝いとなりました。毎月、お誕生日をお迎えになる方々のお写真をフレームにアレンジし、お一人一人にお渡しすることが恒例になっております。皆様の拍手の中での記念撮影では、過去を振り返り、思い出をかみしめながら、新たな一年の門出を喜んでおられる様子でした。ハッピーバースデーの音楽が流れて笑顔満面。来年は、どんな写真の入口たフレームがもらえるのか楽しみです！多くの方々に祝ってもらえるって、本当にハッピーなことですね。



【父の日 カラオケで自慢の喉をご披露】

日頃の感謝の気持ちを込めて、ささやかながら父の日のイベントを開催させていただきました。父の日に贈る花はバラの花ということで、ケーキには生クリームをバラの形に絞って添えました。

職員からは、「高校3年生」の歌のプレゼントをさせていただきますました。男性のご利用者様からは、マジックや「同期の桜」の歌のご披露があり、大変盛り上がりました。長生きの秘訣は「感謝の心をもって笑顔で毎日を過ごすこと」と教わりました。ご利用者様から、いつも

感謝の言葉「ありがとう」をたくさんいただき、いつも支えになっていきます。ありがとうございます。



(仮称)シルバービレッジ構想

西 勝康

地域包括ケアシステムとは、地域の住民が心身の状態が悪化した場合でも、住み慣れた地域において生活を継続できるような仕組みを云います。団塊の世代が全員後期高齢者となる二〇二五年までにこのケアシステムの構築が急がれています。ただ二〇二五年以降も介護需要は増加し続ける傾向は明らかで、二〇二五年は要介護者の急増に向けた入り口に過ぎず、二〇四〇年を超えて長期間にわたって継続する見込みは明白です。

桜の広場

そこで、今のうちに更に小さな単位の、しかも同じ属性の高齢者の集団をひとつの集落として作っていくほうが早いのではないかと考えます。

介護事業者である私の実感ですと要介護の中・重度の方の平均年齢は八五才前後であることからすると、二〇三五年頃が大変になるのではと感じています。だからまだ時間があるというわけではありません。今のままの進め方で住民一人ひとりが実感できる「一体的なケアサービス」の提供が可能になるのか？ 具体的に云えば、仮にこのシステムにアクセスする方法を知らない人でも、いつでも助けてもらえるよう

な仕組みができるのか？ と思うのですが。地域包括の「地域」とは中学校区をおよその基準とする日常生活圏を想定しているのですが、生活者である個人々人にとっての地域とは気軽に助け合える「向こう三軒両隣り」のような「なじみのある関係性がある範囲」ではないでしょうか。

国が進めるCCR C (Continuing Care Retirement Community) をなぞりつつ、私が提案するのは三十人前後の要介護者向けの老人ホームと、その周辺に四十戸くらいの高齢者住宅です。

それを「(仮称)シルバービレッジ構想」と名付けます。次回にもう少し詳しくお伝えしたいと思います。

こころの遊歩道

「成長」

わけのわからぬ線をひいて
これがりんごと子供は云う

りんごそっくりのりんごを画いて
これがりんごと絵かきは云う

りんごに見えぬりんごを画いて
これこそりんごと芸術家は云う

りんごもなにも画かないで
りんごがゆを芸術会員は

もぐもぐ食べる

りんごりんご

赤いりんご

りんごしぶいか

すっぱいか



詩人、翻訳家、絵本作家
谷川 俊太郎

利用者様寄稿欄

八重の家へのお手紙

小鳥のさえずりに目覚め
窓を開けると

緑一杯の景色が広がり
何て幸せな日々なんだろうと
感謝の気持ちをお伝えしたいと
思いました

永年住み慣れた家に心残りを抱きながら

八重の家に入居させて頂きまして三ヶ月余りになりました
始めての共同生活に不安の毎日でしたが

スタッフの方々の優しい笑顔とお言葉を頂きながら
今ここに生かされている喜びに感謝しております

ようやく皆様方とも慣れ親しみ

安らぎの日々を過ごさせて頂いて居ります

きつと皆様方も同じ心境だと思えます

皆何らかの不自由をしいられ

気持ちをつち合い語り合う事により

元気を頂きながら今日一日を精一杯大切に

生きたいと願っております

隅々まで行き届いたスタッフの方々の愛に包まれながら

残り少ない人生をこんなに恵まれた環境の中で

過ごせます事に感謝致します

有難うございます

小室



俳句教室発表句 (敬称を略します)

梅雨晴天 日射し強気に 夏近し

豊崎 千代子

いよいよ夏が近づいてきましたね

梅雨入りで アジサイ達が 主役だよ

若山 樟吉

水滴で輝く紫陽花はとても奇麗ですね

あめんぼう 水上すいすい ポートかな

尾崎 岩重

優雅に水面を進むあめんぼうは美しいですね

父の日 思いは遠くに なりにけり

丸谷 正子

遠い昔になつても思い出はいつまでも心に残りますね

から梅雨の アマガエルあり 昼寝かな

浦野 喜代子

一休みしているアマガエルの様子が思い浮かびますね

六月は アジサイ色の 雨が降る

清水 成子

雨が止んだ後は紫陽花の色がさらに美しく見えますね

かき氷 昔は二杯 食べてたな

明星 明子

よほどかき氷がお好きなんですね

今夏こそ やせると願ひ 叶わない

溝口 ナミ子

太るのはあつという間なのに、やせるのは大変ですね

家計にやさしい所得 段階対応型軽料金制!! (29戸)

入居者 募集開始

中・重度 要介護者 優先

令和2年秋 オープン (予定)

サービス付き高齢者向け住宅
住宅型有料老人ホーム
(デイサービス併設)



住宅型有料老人ホーム (デイサービス併設)
ファミリーモア八重桜 西奈良館

所在地 〒631-0846 奈良県奈良市平松1丁目114

お問い合わせ先 株式会社 八重桜

0120-27-3205 (担当: 大堀)

受付時間 9:00 ~ 17:00